

<b>Course number</b>		G-LAS00 80003 LJ20					
<b>Course title (and course title in English)</b>	研究倫理・研究公正（生命系） Research Ethics and Integrity(Life Science)			<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Agriculture Professor,MIYAGAWA HISASHI Graduate School of Science Professor,HIRANO TOMOO Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,FUNABIKI YASUKO		
<b>Group</b>	Common Graduate Courses		<b>Field(Classification)</b>	Social Responsibility and Profitability			
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>		<b>Number of credits</b>	0.5	
<b>Hours</b>	7.5	<b>Class style</b>	Lecture (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025・Intensive, First semester	
<b>Days and periods</b>	Intensive	<b>Target year</b>	Graduate students		<b>Eligible students</b>	For science students	
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>研究をこれから始める大学院生に責任ある行動をする研究者として身につけておくべき心構えを学ばせる。生命科学研究者として生命にどう向き合うか、研究者としての規範を保っていかん研究を進めるか、また研究成果の適切な発表方法など、研究倫理・研究公正を教示する。特に、科学研究における不正行為がいかん健全な科学の発展の妨げになるかを例示しつつ、データの正しい取扱い方と適正な研究成果の発表の仕方等を講義する。さらに、研究費の適切な使用と知的財産や利益相反について学ぶ。講義に加えて、グループワークとして、与えられた課題についてディスカッションを行う。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>第1講～第4講を通じて、生命科学系研究者としての責任ある行動とは何かを修得させる。生命を研究対象とするに際し倫理的な問題を理解するとともに、科学研究における不正行為の事例学習を通じて、誠実な研究活動を遂行する研究者の心得を身につけさせる。最後に研究倫理・研究公正についてのe-ラーニングコースの受講で理解度を確認する。</p>							
<b>[Course schedule and contents]</b>							
<p>第1講 医学・生命科学に関連する倫理的問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命倫理</li> <li>2. 人を対象とする研究の倫理</li> <li>3. 生物実験材料の取扱い</li> <li>4. 研究者の責任ある行動とは（社会の中の研究者）</li> </ol> <p>第2講 研究を進めるにあたっての倫理公正</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. データの収集と管理 - 実験データの正しい取扱い方 -</li> <li>2. 科学上の間違いと手抜き行為の戒め</li> <li>3. 研究成果の共有</li> <li>4. 論文発表の方法とプロセス</li> <li>5. 実験終了後のデータの取扱い（データの保存・公開・機密）</li> <li>6. 科学研究における不正行為（典型的な不正）</li> <li>7. その他の逸脱行為（好ましくない研究行為）</li> <li>8. 適切な発表方法</li> </ol> <p>第3講 知的財産と研究費の適正使用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知的財産の考え方（知的財産の保護と活用）</li> <li>2. 研究資金と契約</li> </ol>							
<div style="text-align: right;">Continue to 研究倫理・研究公正（生命系）(2)</div>							

## 研究倫理・研究公正（生命系）(2)

- 3. 問題事例紹介
- 4. 利益相反（利害の衝突と回避）
- 5. 公的研究費の適切な取扱い
- 6. 事例紹介（ビデオ：分野共通4件）
- 7. 結語

### 第4講 グループワーク

- 1. 例示された課題についてグループ・ディスカッション
- 2. 日本学術振興会「研究倫理ラーニングコース」の受講と修了証書の提出

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

第1～4講の全出席と参加の状況と、学術振興会e-learningの修了証の提出をもって合格を判定する。

### [Textbooks]

「科学の健全な発展のために 誠実な科学者の心得」日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 丸善出版 ISBN978-4621089149 学術振興会のHP (<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>) より、テキスト版をダウンロード

### [References, etc.]

（References, etc.）

「科学者をめざす君たちへ 研究者の責任ある行動とは」米国科学アカデミー 編、池内 了 訳 化学同人 ISBN978-4759814286

「医学・生命科学の研究倫理ハンドブック」神里彩子、武藤香織、東京大学出版会 ISBN978-4130624138

### [Study outside of class (preparation and review)]

日本学術振興会「研究倫理ラーニングコース」の受講

### [Other information (office hours, etc.)]

講義は土曜2, 3, 4限、グループワークは講義の翌週土曜1, 2または3, 4限に実施する。

### [Essential courses]